



しろみず

東根二中たより



平成30年
5月16日(水)
第3号

地区総体開幕！ 北村山中学駅伝競走大会 5月10日(木) 県総合運動公園

総合順位 男子チーム：8位 (43秒の記録更新：H29 二中チームとの比較)

総合順位 女子チーム：9位 (1分38秒の記録更新：H29 二中チームとの比較)

※ さん 区間第2位入賞 女子第1区 (3km)

年々レースが高速化している地区中学駅伝競走大会。今年も、区間新記録が生まれるなど、各校代表選手の記録は向上しています。二中生たちも、懸命の走りで今年の記録を大幅に更新しました。

男子 ① くん →② くん →③ くん →④ くん →⑤ くん →⑥ くん



僕は1区を走りました。去年は2区だったので、違う緊張感がありました。ハイレベルな区間でしたが、最後まで諦めずに走り切り、襷をつなげることができて良かったです。

男子1区 (3km) 3年1組 くん

僕は2区を走りました。1区の先輩から襷をもらった時が一番緊張しました。しかし、3年生の先輩方や先生方の応援で自己最高記録を出し、3人を抜くことができたのでうれしかったです。

男子2区 (3km) 2年1組 くん

本番のレースで、目標の10分30秒を切ることができず残念でした。しかし、自己ベストタイムが出せて良かったです。来年も駅伝で走れるように、これからも頑張っていきたいです。

男子3区 (3km) 2年1組 くん

今回の駅伝では4区を走り、初めての出場という事で、とても緊張しました。しかし、自分の走りができたと感じます。今回の駅伝で得たものを次の地区中総体に活かしたいです。

男子4区 (3km) 3年1組 くん

僕は駅伝で5区を走りました。4区の先輩がスタジアムに入ってきた時が一番緊張しました。走っている時は緊張しませんでした。今年は総合8位だったけれど、来年は入賞します。

男子5区 (3km) 2年1組 くん

自分は6区を走りました。自己ベストを出すことはできなかったけれど、精一杯走ることができました。来年は、後輩の皆さんに頑張ってもらいたいです。

男子6区 (3km) 3年1組 くん



女子駅伝の活躍は、裏面です。ご覧ください。

女子 ① さん →② さん →③ さん →④ さん →⑤ さん



今年1区を走り、とても緊張しました。最近あまり良い結果が出ていなかったのが不安でしたが、区間で2位になることができ、とてもうれしかったです。

女子1区 (3km) 2年1組 さん

私は2区として出場しました。1区のさんが2位という良い順位で来てくれたのに、順位を落としてしまったので悔しかったです。来年も出場してリベンジしたいです。

女子2区 (2km) 2年1組 さん

今回、私は自分の思い通りに走ることができませんでした。しかし、4区のさんに襷を渡すことができ、良かったです。地区総体では、悔いの残らないプレーをしたいです。

女子3区 (2km) 3年1組 さん

私は4区を走りました。去年よりもタイムが伸びず、力強い走りができなくて悔しかったです。二中学生の応援に感謝し、今回の反省も含め、これからも頑張っていきたいです。

女子4区 (2km) 3年1組 さん

私は、駅伝の5区ということでプレッシャーがありました。皆さんの応援のおかげで最後まで走り抜くことができました。来年は、今回よりもタイムを縮めたいです。

女子5区 (3km) 2年1組 さん



雨中の応援は
選手の力に!



たくさんのご協力ありがとうございました。
地域・PTAの皆様へ感謝! 「資源回収」 5月13日(火)

私が住む中央・北斗地区には、たくさんの資源が集まりました。この資源回収を通して、困っている方々の役に立てれば良いと思います。これからも限りある資源を大切にしていきたいです。

2年1組 さん

私は去年の資源回収ではあまり働かず、見ている場面が多かったです。今年はしっかり働こうと考え、実行することができました。雑誌や新聞などとても重たかったけれど、頑張りました。

2年1組 さん

決意

校長 金村裕之

5月10日(木)、今年の北村山地区中学総体最初の競技、駅伝競走大会に挑戦した二中健児たち。今年2月に、二中学生自身の希望参加で編成された二中駅伝チーム。本番のレースは、男子6名、女子5名の選抜選手。それぞれの決意で、駅伝チームに臨んだ二中学生男女37名の挑戦が完了しました。

大会本番までには、部活動等の他に、朝練習や大会会場での試走等、負担も多かったと推察します。

希望を抱いて参加を決めたものの、日々の活動の途中には「選手に選ばれるのだろうか? 記録が伸びるのだろうか? 大会本番まで続けられるのだろうか?」等、迷うことも多々あったと思います。

また、実際の練習中は、「苦しい、もうだめだ、いやまだ頑張れる、記録が伸びた、また負けた」等、様々な心の葛藤があったのかもしれませんが。

5月8日(火)の大会直前、最後の試走日、大会会場の天童は、あいにくの雨でした。出場選手中心の試走。悪天候にも関わらず、駅伝チームの二中学生たちは、選手に選抜された人もサポートに回った人も、分け隔てなく一生懸命に自分の役割を果たそうと必死でした。その様子に感動を覚えました。

それぞれの決意で始まり、最後までやり遂げた駅伝。駅伝を通してチームとしてたくましく成長した二中学生たち、その姿を頼もしく感じたのでした。